

原子力防災訓練の実施について

2012年2月17日

当社は、本日、静岡県および地元4市が主催する静岡県原子力防災訓練と同調して、大規模地震および津波による原子力災害発生時において、発電所の状況を関係自治体および防災関係機関へ適切に情報提供するための訓練を実施しましたのでお知らせします。

今回の訓練では、通信手段の確保、通報連絡および派遣要員を介した情報伝達の訓練を実施しました。

1 訓練日時 2012年2月17日(金) 8時30分～15時30分

2 訓練場所 静岡県庁危機管理センター、静岡県浜岡原子力防災センター(オフサイトセンター)
当社施設(浜岡原子力発電所、本店、静岡支店、東京支社)

3 訓練概要

[訓練目的]

・大規模地震および津波による原子力災害発生時の発電所の状況を、静岡県、地元4市(御前崎市、牧之原市、掛川市、菊川市)、5市2町(島田市、吉田町、袋井市、森町、藤枝市、焼津市、磐田市)および防災関係機関へ適切に情報提供できるよう、通報連絡および対応を確実に実施するとともにその検証をおこなう。

[訓練想定]

- ・駿河湾を震源とするマグニチュード8の大規模地震が発生する。
- ・NTT回線および携帯電話はつながらない。静岡県総合情報ネットワークおよび衛星電話はつながる。
- ・外部電源が喪失するが、非常用ディーゼル発電機が始動し、交流電源が確保される。
- ・津波により、全号機の海水系ポンプが故障し、非常用ディーゼル発電機が冷却できなくなり停止することによって、全ての交流電源が喪失する。
- ・原子炉建屋屋上に設置した災害対策用発電機を起動し、補給水ポンプによる原子炉への注水を実施するが、故障によって3号機の補給水ポンプが停止する。このため、エンジン駆動の可搬式動力ポンプによる注水に切り替える。
- ・可搬式動力ポンプによる注水に切り替えるが、原子炉水位は低下し続ける。原因調査の結果、配管が破断して漏水していることが判明する。
- ・放射線管理区域内で原因を調査していた作業員1名が負傷する。その際、負傷箇所に放射性物質を含んだ水を被水する。
- ・配管の破断箇所を隔離し、原子炉水位が回復する。

[訓練項目および内容]

訓練項目	訓練内容
通信手段の確保	複数の通信手段が確保できることを確認する
通報連絡および情報伝達	・上記通信手段により静岡県、地元4市、5市2町および防災関係機関への通報連絡を実施する ・中部電力から静岡県本部、御前崎市本部等へ要員を派遣し、プラント状況の説明等をおこない、情報伝達が確実に実施できることを確認する ・発電所内で被ばくした患者が発生したことを想定し、搬送に係る関係機関への通報連絡を実施する



オフサイトセンターとの通信手段の確保(可搬型衛星電話TV会議システム)



オフサイトセンターにおける関係自治体等との訓練の様子

以上